

ALEX YOUNGER

Former Chief Of The Secret Intelligence Service (Also Known As MI6); Longest-serving MI6 Chief In 50 Years; Expert On International Security, Cybersecurity, Geopolitics

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Artificial Intelligence
- Cyber Security
- Digital
- Europe
- Leadership
- Strategy
- Technology
- Transformation

アレックス・ヤンガー卿は、MI6としても知られる秘密情報局の元長官 (2014-2020) です。彼は 2014 年から 2020 年までの 6 年間、この役職を務め、2019 年には 50 年間で最長の MI6 長官になりました。

サー アレックス ヤンガーは 1991 年に MI6 に参加しました。彼はヨーロッパ、中東、およびアフガニスタンに配属されました。彼はキャリアのほとんどをオペレーショナル ケース オフィサーとして過ごしました。2009 年、サー アレックス ヤンガーはテロ対策の責任者となり、2012 年 ロンドン オリンピックの警備に携わりました。

アレックスは、2014 年に「C2」として知られる英国のスパイ チーフになりました。この期間中、彼は自分のサービスの変革に焦点を当て、技術を敵よりも MI6 に有利なものにすることを目指しました。彼はまた、同盟国から敵国までのスペクトルをカバーする、世界中の諜報機関の責任者のネットワークを維持しました。彼は、国家安全保障会議のメンバーとして、情報と安全保障の問題について首相に助言しました。

MI6 に参加する前は、セント アンドリュース大学で経済学とコンピューターサイエンスを読み、英国陸軍 (スコットランド近衛兵) の歩兵将校でした。

Alex は現在、地政学的、地質工学的、およびサイバー競争の影響をより多くの聴衆に説明することに重点を置いています。彼は、秘密の世界で 30 年間観察してきた傾向の多くが、今では私たちの生活全体の特徴になっていると信じています。これにより、アレックスは、ますます広く共有される問題について明確な洞察を得ることができます。